

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道	(2) 記載者氏名:	新妻 徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄	北海道 - 20
分水嶺区分	H172静狩峠～ 185.8	(3) 山行日:	2004年 3月 7日	(4) 天候	晴れ		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

新妻 徹	5868						
三戸部 清文	12865						
八木橋 貞美	13010						
八木沼 陽子	13216						
計			4名			計	名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	3月6日「白神岳踏査行」の帰札途中、静狩峠～ 185.8PA(駐車場)												
アプローチ:	静狩峠PA～静狩トンネル上～静狩峠～ 320.5～ 185.8												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	静狩峠 PA	静狩											
分水嶺到達点 H172	静狩峠	"	140	28	38.00	42	35	59.00	209.0	12:45	12:50	B-4	8
	281地点	"	140	28	45.00	42	35	44.00	281.0	13:25	13:30	B-4	8, 9
	283地点	"	140	29	18.00	42	35	27.00	283.0	14:10	14:15	B-4	8, 9
	320.5	"	140	29	35.00	42	35	30.00	321.0	14:55	15:00	B-4	8, 9
	326北肩	礼文華峠	140	30	19.00	42	35	25.00	310.0	15:25	15:30	B-4	8, 9
分水嶺離別点	185.8	礼文華峠	140	30	49.00	42	35	33.00	186.0	16:00		B-4	8
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):												2時間55分	

分水嶺距離: 4km

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
320.5					積雪のため、確認不能
185.8					

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

中央分水嶺の北側に、旧林道が並行している。

(9) 水および植生に関連した特記事項

日本列島の中央分水嶺で、最も興味深い地形の地域である。中央分水嶺の南側直下に内浦湾(噴火湾)があり、北側は、遠い日本海から来馬川が長い流路を蛇行している。R230と中央分水嶺の間のトドマツ帯は、来馬川の水系で豊富な樹林を形成している。

(10) その他の特記事項

札幌から函館への車の走行距離は往復850kmになるが、内浦湾に最接近する中央分水嶺は、立ち寄りたいエリアであり、白神岳踏査の帰路に新妻・八木橋が静狩峠から東進し、三戸部・八木沼が 185.8から出迎えるかたちで踏査した。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: